

事務事業実績測定調査

10524010022	緩衝緑地帯整備事業		
測定年度	2019(R1)年度	16000300	環境部淀川衛生事業所
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち	
	取り組みの方向	84.市民が、日常生活の中で自然とふれあい親しめる場を確保するため、まちなかのみどりや、子育て世帯など幅広い世代の人々にとって憩いの場となる公園、河川敷などの緑地空間を守り、創出します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2019(R1)年度		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	緩衝緑地帯の一部が公園として整備されて、近隣に在住する市民・事業者が、利用できている状態。				
事業概要	<p>公共施設マネジメント推進委員会において、売却することが決定された緩衝緑地帯については、平成24年7月30日に大阪府住宅供給公社と交換した用地部分(744.37㎡)を緑地とする契約を締結している。これを受け、緩衝緑地帯の伊加賀西町南公園に隣接する区域のうち、府公社と交換した用地面積に相当する面積を公園の拡張用地として環境部が整備し、土木部の所管とした上で公園としての活用を図る。</p> <p>○用地の概要 緩衝緑地帯 約4,805㎡(公園拡張用地 約744.37㎡含む)</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	土木部が公園として管理運営できている。 【移管面積/整備面積×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	—	—		
実績	0					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.00	0.53
正職員数	0.00	0.00	0.47
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.06
再任用職員数	0.00	0.00	0.06
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	0	4,074
正職員人件費(換算額)	0	0	3,768
非正規職員人件費(計)	0	0	306
再任用職員人件費(換算額)	0	0	306
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	0	0	4,074
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	4,074

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	0.00%	50%未満 : 低い
事務事業の実績	令和2年度の事業完成に向けて、整備に必要な「伊加賀西町緩衝緑地改修工事実施設計業務委託」を行った。実施設計業務委託費については、当初予算額 4,000千円、決算額 3,686千円であった。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	整備のために「伊加賀西町緩衝緑地改修工事」を実施し、整備完了後に用地の土木部への所管換えを行い、公園として利用ができるように事務を進めていく。緩衝緑地改修工事費については、令和2年度当初予算額 22,000千円となっている。	

事務事業実績測定調書

10526030002	し尿収集業務		
測定年度	2019(R1)年度	16000300	環境部淀川衛生事業所
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	89.河川や水路、池などの水質汚濁の防止を図るため、公共下水道の整備を促進するとともに、生活排水等の適正処理を進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、地方自治法、同法施行令、同法施行規則、枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例及び同施行規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者が、快適な生活環境で過ごす。				
事業概要	<p>定期収集は、おおむね21日を周期として行い、臨時汲み取りは、電話受付後、随時収集を実施している。</p> <p>○対象世帯数:700世帯(4月当初)</p> <p>○年間収集量:1,770kl(見込み)</p> <p>○収集車1台当たり年間収集量885kl(見込み)(稼働台数2台)</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	し尿収集の要望に対する執行率 【収集量/収集要望量×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	100					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	13.86	12.47	9.04
正職員数	11.49	10.74	8.43
非正規職員数(計)	2.37	1.73	0.61
再任用職員数	2.19	1.73	0.41
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.18	0.00	0.20
■人件費総額(千円)	100,615	93,909	70,085
正職員人件費(換算額)	90,472	85,394	67,583
非正規職員人件費(計)	10,143	8,515	2,502
再任用職員人件費(換算額)	9,732	8,515	2,090
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	411	0	412
■直接経費(千円)	1,182	2,898	2,123
■事務事業の総計(千円)	101,797	96,807	72,208
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	11,262	10,180	2,931
一般財源	90,535	86,627	69,277

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>収集業務は、21日周期を原則に普通・大口・臨時の区分により、定期収集車2台で汲み取りを行った。公共下水道地区整備に伴い、汲み取り件数は年々減少しているため、収集車の受け持ち地区の変更や整理を随時行った。 し尿収集状況については、一般汲取件数10,838件、汲取量1,429.11kl、大口汲取件数616件、汲取量164.60kl、臨時汲取件数663件、汲取量123.80klで 合計汲取量は1,717.51klであった。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>21日周期を原則に普通・大口・臨時の区分により、定期収集車2台(令和2年度)で汲み取りを行う。 そして、公共下水道整備の進捗と点在する収集世帯の状況を踏まえ、収集車両台数、収集員の適正配置及び収集経路の見直しを図りながら引き続き、効率的な収集を行う。</p>	

事務事業実績測定調書

10526030003	し尿処理業務		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000300	環境部淀川衛生事業所
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	89.河川や水路、池などの水質汚濁の防止を図るため、公共下水道の整備を促進するとともに、生活排水等の適正処理を進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」が、市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入でき、そして、し尿・浄化槽汚泥等について、法令に適合した処理を適切に行い、生活排水の改善が図られている状態。				
事業概要	<p>市域から収集したし尿及び浄化槽汚泥等を、本施設で適正に処理し、放流基準を遵守できるよう、適切な維持・管理を行っている。</p> <p>希釈放流方式</p> <p>計画処理量 約60kl/日 放流量 1,140m³/日</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	し尿及び浄化槽汚泥等に対する処理完了率 【処理量/搬入量×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	100					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	5.76	5.06	4.63
正職員数	3.92	3.87	1.61
非正規職員数(計)	1.84	1.19	3.02
再任用職員数	1.66	1.01	3.02
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.18	0.18	0.00
■人件費総額(千円)	38,654	35,741	28,303
正職員人件費(換算額)	30,866	30,770	12,907
非正規職員人件費(計)	7,788	4,971	15,396
再任用職員人件費(換算額)	7,377	4,971	15,396
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	411	0	0
■直接経費(千円)	84,594	174,566	159,463
■事務事業の総計(千円)	123,248	210,307	187,766
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	6,887
一般財源	123,248	210,307	180,879

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>希釈放流方式により、搬入されたし尿・浄化槽汚泥等を適切に処理した。 希釈放流センター受入状況については、受入日数249日で、家庭系し尿受入量1,717.51kl、事業系し尿受入量721.50kl、浄化槽汚泥受入量11,277.66kl、デスポーザ汚泥受入量23.20klであった。また、希釈水量269,166.00m³、放流水量290,141.00m³であり、希釈放流水質については、放流基準を遵守した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	市域から収集したし尿及び浄化槽汚泥等を、本施設で適正に処理し、放流基準を遵守できるよう、適切な維持・管理を行っていく。	

事務事業実績測定調査

10526030006	淀川衛生事業所施設維持管理事業		
測定年度	2019(R1)年度	16000300	環境部淀川衛生事業所
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち	
	取り組みの方向	89.河川や水路、池などの水質汚濁の防止を図るため、公共下水道の整備を促進するとともに、生活排水等の適正処理を進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		~		
根拠法令等	建築物衛生法、労働安全衛生法、水道法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」が、市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入でき、し尿・浄化槽汚泥等を法令に適合した処理を適切に行えて、施設の維持管理ができている状態。				
事業概要	<p>○施設の概要 希釈放流センター (所在地: 出口2丁目30番1号・開設年月日: 平成5年9月30日・敷地面積: 33,175.77㎡ 延床面積: 5,498.94㎡・建物構造: 鉄筋コンクリート造2階建外) 緩衝緑地帯 (敷地面積: 744.37㎡)</p> <p>○委託業務 (清掃委託・受水槽・警備委託・害虫駆除委託・空気環境測定委託・淀川衛生事業所除草樹木剪定等委託)</p> <p>○事業内容 警備委託 (機械警備) による休日・夜間の管理。 清掃委託等による建物の維持管理及び淀川衛生事業所除草樹木剪定等委託による施設内の美観の維持。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100以内	100以内	100以内		
実績	64					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	2.10	4.46	3.29
正職員数	1.66	3.06	1.69
非正規職員数(計)	0.44	1.40	1.60
再任用職員数	0.44	1.40	1.60
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	15,026	31,221	21,706
正職員人件費(換算額)	13,071	24,330	13,549
非正規職員人件費(計)	1,955	6,891	8,157
再任用職員人件費(換算額)	1,955	6,891	8,157
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	34,454	12,912	6,402
■事務事業の総計(千円)	49,480	44,133	28,108
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	49,480	44,133	28,108

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	63.79%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>決算額については、除草樹木剪定等委託料 1,076,476円、清掃委託料 2,354,400円、貯水槽清掃等委託料 41,040円、警備委託料 2,354,400円、害虫駆除委託料 30,240円、空気環境測定委託料 86,110円、硫酸移送業務委託料 81,000円、消耗品費 364,105円、手数料 0円、使用料(NHK受信料) 14,545円、安全管理者講習負担金 0円となっており、適切に施設の維持管理を行った。</p> <p>また、事務事業の総計額の減少については、平成29年12月に希釈放流施設へ改造したことによる人員の削減及び平成30年度において、緩衝緑地帯売却に係る分筆測量委託料が発生していたためである。</p>	
今後の方向性	改善	
具体的な 今後の取組方策	<p>市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入できるよう、施設の維持管理を適切に行っていく。また、清掃委託については、単年度契約から複数年契約へ仕様を見直すことで、経費削減を目指す。</p>	

事務事業実績測定調査

10528020002	公衆便所管理事務		
測定年度	2019(R1)年度	16000300	環境部淀川衛生事業所
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち	
	取り組みの方向	93.美しく快適なまち並みの形成に向けて、里山の景観や枚方宿地区などの歴史的景観をはじめ、住宅地の景観など地域の特性に応じた魅力あふれる景観づくりを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2010(H22)年度		～		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、枚方市公衆便所条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公衆便所を利用する者が、快適に利用できている状態。				
事業概要	<p>公衆便所の維持・管理のため、毎日の施設・設備の清掃、ゴミやクモの巣などの除去、消耗品の補充、軽微な故障修理等については、清掃業務委託により実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西口公衆便所(枚方市桜町2番23号) 開設 昭和28年3月、敷地面積 23.14㎡、延床面積 16.00㎡、建物構造 鉄筋コンクリート (男子 洋式 1、小便器 1) (女子 洋式 1) ・枚方公園駅前公衆便所(枚方市伊加賀北町5番11号) 開設 昭和34年7月、敷地面積 51.06㎡、延床面積 20.80㎡、建物構造 鉄筋コンクリート (男子 和式 1、小便器 2) (女子 和式 2) (身障者用 和式 1) 				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100以内	100以内	100以内		
実績	80					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.04	0.04	0.04
正職員数	0.03	0.03	0.03
非正規職員数(計)	0.01	0.01	0.01
再任用職員数	0.01	0.01	0.01
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	280	288	292
正職員人件費(換算額)	236	239	241
非正規職員人件費(計)	44	49	51
再任用職員人件費(換算額)	44	49	51
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,464	1,540	1,804
■事務事業の総計(千円)	1,744	1,828	2,096
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,744	1,828	2,096

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	79.79%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>決算額について、公衆便所清掃委託料 1,406,100円、光熱水費 397,901円、修繕料 0円、原材料費 0円、消耗品費 0円であった。清掃業務委託で対応できない修繕等については、職員での対応を行い適切な維持管理を行った。</p>	
今後の方向性	改善	
具体的な 今後の取組方策	<p>公衆便所の維持・管理のため、毎日の施設・設備の清掃、ゴミやクモの巣などの除去、消耗品の補充、軽微な故障修理等については、清掃業務委託により実施する。また、複数年契約に仕様を見直し経費削減を目指す。</p>	

事務事業実績測定調査

10999990053	淀川衛生事業所運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	16000300	環境部淀川衛生事業所
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		～		
根拠法令等	自動車NOx・PM法、大阪府生活環境の保全等に関する条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事業所に勤務する職員が、事業所所管業務を適正かつ効率的、迅速に執行できている状態。				
事業概要	<p>○事業所内の連絡調整・庶務に関すること。 ○職員の安全衛生及び福利厚生に関すること。 ○事業所保有の公用車維持管理に関すること。 ○保有台数: し尿収集車6台(予約車、緊急車、車検点検用車両を含む)・小型貨物バン1台・軽乗用2台・小型貨物ダンプ1台・ダンパー車(ナンバーなし)1台・軽貨物1台(4月当初)</p>				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—		

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	4.89	5.65	3.67
正職員数	4.14	4.80	2.77
非正規職員数(計)	0.75	0.85	0.90
再任用職員数	0.75	0.85	0.90
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	35,931	42,349	26,795
正職員人件費(換算額)	32,598	38,165	22,207
非正規職員人件費(計)	3,333	4,184	4,588
再任用職員人件費(換算額)	3,333	4,184	4,588
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	3,207	3,209	2,702
■事務事業の総計(千円)	39,138	45,558	29,497
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	227	337	27
一般財源	38,911	45,221	29,470

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	事業所内の連絡調整・庶務、職員の安全衛生及び福利厚生に関して適切に執行した。公用車維持管理については、し尿収集車1台を穂谷川清掃工場へ移管し、適正な保有台数となるように執り行った。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	事業所に勤務する職員が、事業所所管業務を適正かつ効率的、迅速に執行できるよう、事業所内の連絡調整・庶務、職員の安全衛生及び福利厚生に関して適切に執行する。また、公用車については、効率的な運用を考え、修繕料や燃料費の縮減を図るため、1台を減車する。なお、減車する1台については、庁内の買い換え時における活用を検討する。	